

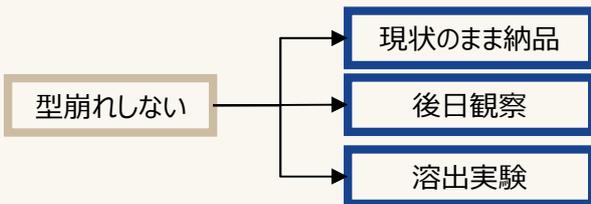
バイブレーション・コア・サンプラー(VCS) を用いた底質の柱状サンプリング技術

バイブレーション・コア・サンプラーを用いた底質採取の新システム導入

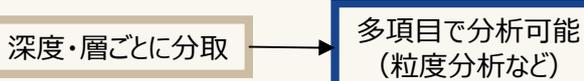
従来の方法に比べて、より安価でスピーディな観察が可能となりました。
実際に混入物等を手に取り、観察することにより、底質状況を把握する事ができます。

■ 技術のポイント

- ☑ **柱状のまま持ち運び可能**
(「1m長の本箱」もしくは「パイプのまま」が選択可能)



- ☑ **現地で必要深度を分取**



- ☑ **現地で詳細目視観察**

臭気・色相
観察

成分・混入物観察
(直接観察可能)

写真撮影



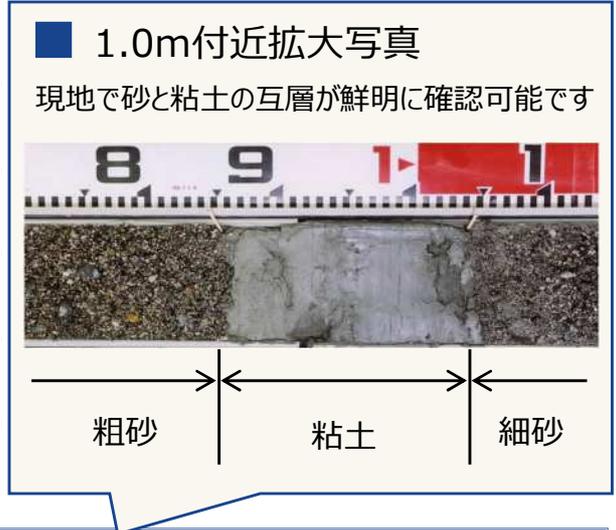
現地で採取した状態のまま木箱で納品可能です



底質採取の可能深度

※内径φ100mmのサンプリングパイプによる実績値 (○：採取可能 △：状況により採取可 -：実績なし)

貫入深度 土質(粒径)	1.0m	2.0m	3.0m	4.0~ 6.0m	6.0m 以上
粘土 (0.005mm未満)	○	○	○	○	○
シルト (0.005~0.075mm)	○	○	○	○	○
細砂 (0.075~0.425mm)	○	○	○	△	-
粗砂 (0.425~2.0mm)	○	○	△	-	-
細礫 (2.0~4.75mm)	○	△	△	-	-



水中での作業の様子

